

「火の確認 いい日を支える いい習慣」

秋の火災予防運動

【令和8年11月1日（日）～11月7日（土）】

住宅火災の発生や逃げ遅れを防ぐための、「住宅防火10のポイント」

住宅
防火

いのちを守る

10のポイント

4つの習慣



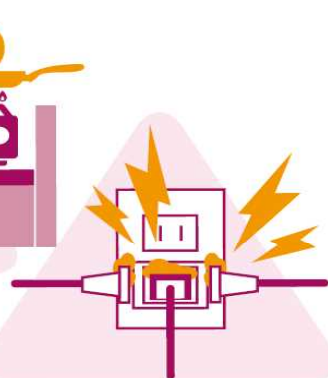
1 寝たばこは絶対にしない、させない



2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない

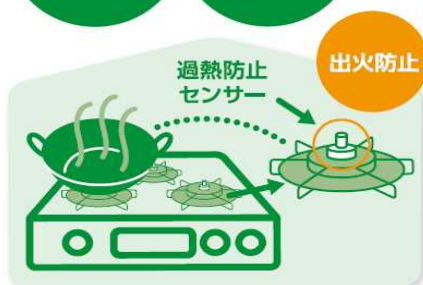


3 こんろを使うときは火のそばを離れない



4 コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

6つの対策



1 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する



2 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する



3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防火品を使用する



4 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく



5 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



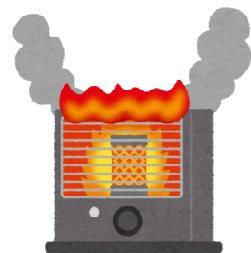
6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

裏面に続く

暖房器具を安全に使うためのポイント

例年この時季は、暖房器具による火災が増加しています。

暖房器具の点検や取り扱いなど、火災予防をお願いします。



①シーズン始めの使用前に、清掃・点検をしましょう！

②可燃物の近くで使用しない！

③外出、就寝、給油は火を消してから！



通電火災を防ぐポイント

【通電火災とは】

・地震や風水害などの災害にともなう停電の復旧時（再通電）に引き起こされる火災です。

【事前対策】

・地震の揺れを感知し電気を遮断する感震ブレーカーを設置しましょう。

【避難時の対応】

・電気器具の電源スイッチを切り、電源プラグを抜きましょう。

・アンペアブレーカーを落としましょう。

※とっさに避難する時や不在時に災害が発生すると

アンペアブレーカーを落とせません、感震ブレーカーを設置しましょう。

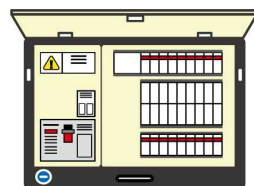
【復旧時の対応】

・電気器具に破損がないことを確認しましょう。

・電気器具の近くに可燃物がないことを確認しましょう。

・再通電後は、しばらく電気器具に異常がないか注意しましょう。

感震ブレーカーを
設置しましょう！！



通電火災にご注意



秋田市消防本部

お問い合わせは、秋田市消防本部 予防課 （８２３－４２４７）または、最寄りの消防署へお願いします。